

平成 2 9 年度委員会活動成果報告会

2018-6-8
国際委員会

平成29年度 国際委員会紹介

● ミッション

当委員会は、会員企業の海外活動の際に起こりうる共通の問題を研究し、提言を行う。また会員企業に対し、共通かつ有益な情報を提供することにより、会員企業の海外事業発展に寄与する。

● 正副委員長

- 委員長 : 吉田 雅美(アズビル(株))
- 副委員長: 山岸 裕司(東亜ディーケーケー(株))
- 副委員長: 田中 秀穂(岩崎通信機(株))

● 参加委員

畔野(理化工業)、金(EH+山梨)、鈴木(チノー)、
林(堀場製作所)、山口(共立電気)、渡邊(横河電機)

● 開催回数(11回/年): 他セミナー等の催しに応じて活動

主な活動内容

● 海外交流

2017年9月 タイ TPAとのジョイントセミナー開催(於バンコク)

- 2016年11月関西計測展にてMoU締結を記者発表
- 協働イベントとしてタイ国ユーザ対象にIoT／スマートファクトリテーマでのセミナーを行い、JEMIMAおよび会員企業の活動状況をアピール

● セミナー事業

2017年8月 ルール形成戦略(JETRO講師)

2018年2月 中国一帯一路構想(日中経済協会)

● 70周年記念タスク:WEBサイト英文ページ作成

広報委員会主管のWEBサイト更新タスクへの参画

英文ページの企画と掲載コンテンツの英文化作成翻訳を担当

海外交流(タイ TPA) : ジョイントセミナー概要

TPA(泰日経済技術振興協会)とのジョイントセミナー開催(於バンコク)

- ◆ 日時: 2017年9月14~15日(2日間)
- ◆ 場所: TPAパタナカーン事務所
- ◆ 講師:
吉原専務理事、笹嶋氏(企画運営会議アドバイザー)、石隈氏(エネルギー低炭素委員会)、池山氏(エネルギー低炭素委員会)、吉田(国際委員会)
- ◆ 概要:
 - Thailand 4.0による政府指針を踏まえたタイ国各ユーザ企業における検討開始を機会としたイベント
 - 日本企業の具体的活動アピールを通じて、タイ国におけるJEMIMAおよび会員企業のプレゼンスと価値をアピールし、参加者へのタイ国内現法等組織とのビジネスマッチング(販路拡大)を支援
 - プログラムの一部として、スポンサー参加のJEMIMA会員企業およびその現地法人による「テーブルトップデモ+短時間でのプレゼンテーション」を実施

海外交流(タイ TPA) : ジョイントセミナー結果

1. 無料セミナーであったが、政府Thailand 4.0 の指針の基、FA事業者中心に70名弱の聴講者が熱心に聴講しており、事業者における取組意識が強く感じられた。
2. TPAにとっては他産業界団体をスポンサーとして講師陣に招いた形の共同アクティビティは初めての試みであった。今回成功裏に終わったことで、JEMIMAに対する評価と共に今後の継続的關係構築への大きな期待を得た。
3. 会員企業へのビジネス貢献とセミナースポンサーとしてタイでビジネスを実施、志向するJEMIMA会員企業に参加をいただき、テーブルトップデモを含めた取組紹介を内容に含める形とした。より具体的な計測制御領域での本テーマでの活用方法の提示と、多数ではないが参加企業への顧客コンタクトを増やしたことで、TPA、参加者両方からポジティブなフィードバックを得た。
4. 今回のセミナーは導入編として、今後さらなるエンドユーザへの啓蒙を狙った各論や詳細情報提供、またTPAを通じた他ASEAN国へのJEMIMA会員企業ビジネス機会創出等の企画に発展させるべく、相互での検討を行う。

海外交流(タイ TPA) : ジョイントセミナー状況

聴講者全景(1日目)



聴講者全景(2日目)



デモ展示会場(2日目)



デモ展示会場(2日目)



セミナー事業 I (ルール形成戦略)

ルール形成戦略について

日時：2017年8月29日 15時～17時

17時～18時(ハッピーアワー)

場所：計測会館 会議室

講師：山形貿易情報センター所長 神野 達雄 氏

(前:知的財産・イノベーション部 貿易制度課長)

概要：

- I. ルール形成戦略とは？
- II. なぜ今、ルール形成戦略が必要なのか？
- III. ルール形成戦略の事例
 1. 標準化 (Standardization) の活用
 2. 社会課題を解決するルール形成
 3. イノベーションのためのルール形成



セミナー事業Ⅱ（中国 一帯一路構想）

「一帯一路イニティブ」と日中第三国市場協力

日時：2018年2月23日 15時～17時

場所：計測会館 会議室

講師：日中経済協会 専務理事

東京工業大特任教授

杉田 定大 氏

概要

2017年5月の一帯一路国際協力フォーラムを契機として、日中の首脳会議において一帯一路についても取り上げられ、今後日本としても、透明性、公平性、経済性など一定の条件の下で、第三国市場協力の展開を行っていくこととなっている。この具体的事例や将来性を紹介



70周年記念タスク: 英文WEB改定

- 広報委員会のJEMIMAウェブサイト更新タスクフォースに、国際委員会WGとして参加(英文サイトの更新)
 - ✓ 現有サイトのコンテンツは保持しながら、サイトを更新する(日本語/英語)
 - ✓ サイトのデザインは一新する
 - ✓ 海外からのアクセス数を増やすためのコンテンツ追加
 - > 海外団体とのコラボ紹介のための新規ページ作成(逐次追加予定)
- 英文サイトの新規コンテンツ作成
 - ✓ 日本語サイトに追加されるコンテンツの英文化
 - > 「委員会紹介ページ」を作成するにあたり、各委員会への呼びかけに合わせ、新規作成されたコンテンツの英文化、および英文査読(各委員会紹介ページ)
- 英文サイトのコンテンツ見直し
 - ✓ 現有サイトの英文見直しと、新規サイトへの反映

70周年記念タスク: 英文WEB改定



非会員も見られる完全公開ページ ※会員専用も作り込み済

クリックで「海外コラボ紹介」等英文サイト独自企画

新サイト公開後も逐次更新予定 (会員専用ページ含む)



平成30年度の主な活動予定

◆ 海外関連団体との交流促進と発展

- ✓ 泰日経済技術振興協会(TPA)との会員企業ビジネス貢献に向けた具体的交流の促進
- ✓ MOU締結済工業会(中国・台湾・英国)との交流継続・発展
- ✓ 他国友好団体との交流事業の新規企画

◆ 海外に関するセミナーの開催

- ✓ 会員企業の関心のあるテーマを設定し、JEMIMA内外から専門家を招きセミナーを開催(年2回)

◆ 海外安全対策マニュアルの更新

- ✓ 会員企業への再アンケート(2009年アンケートの更新)
- ✓ テロリスク等近年の状況を反映

◆ WEBサイト英文ページ改変

- ✓ 立上げ完了後の安定的維持に向けたアクション継続
- ✓ 海外企業や関連団体への魅力的情報の発信による交流機会の開発とJEMIMA(および会員企業)の宣伝